

## 社会福祉法人 北陽会 令和7年度 福祉施設整備計画等について

令和5年4月1日より、多機能型事業所サークル24生活介護事業所「せいわ」「さつき」を廃止し、るべしべ光星苑の隣接地に、新たに生活介護事業40名の事業所を開始することができました。

将来的に社会福祉法人 北陽会の障がい部門について複合的に同一敷地内で整備をしていくという大きな目標の第1歩を踏み出すことができたことについて、行政、地域の皆様のご支援、ご協力をいただきましたことから、実現したものと感謝しております。

整備資金については、105,500,000円の補助金交付決定、独立行政法人福祉医療機構から、127,900,000円の借入れ、さらに積立金取崩総額229,055,000円の支出となり、積立残額360,602,828円となりました。

また、今後の社会福祉法人 北陽会福祉施設整備計画につきまして、令和5年7月13日開催、第4回理事会におきまして、るべしべやよい苑の生活環境改善を第1の目的とし、日中支援型グループホームを新築工事を進めるという決議となり、令和6年度社会福祉施設国庫補助金申請を令和5年8月21日に申請を行ったところでありますが、不採択となり、補正による申請を、令和5年11月22日に追加協議の通知を受け、令和6年度を前倒しし、申請を致しました。

その結果、令和6年7月2日に、令和6年度社会福祉施設整備事業費補助金に係る内示が発出となりました。

また、現在の建築工事費につきまして、日中支援型グループホーム本体工事費、336,490,000円、実施設計費、4,738,800円、工事監理費、4,004,000円、外構、9,449,000円、開発申請 3960000円、事務用品、3,500,000円、造り付家具、1,496,000円  
工事費総額、36,483,780円を予定しております。

また、令和6年度、旧旭荘、旧さつきにつきまして、予定通り、解体撤去工事が完了し、27,830,000円の工事費となっております。

令和3年～令和6年度までの整備計画は全て完了することができましたのも、役員の皆様のご協力、ご支援を賜り、地域の皆様、法人職員の力が一体となった成果と強く感じております。しかし、北陽会の積立資産が5億円所有しておりましたが、整備終了後、2億円となりました。

また、独立行政法人 福祉医療機構から127,900,000円の借入及び北見信用金庫より、129,000,000円の借入を予定しており、合わせて256,900,000円の借入となっております。

整備による、借入金を増額、積立金の減等から、法人の全事業、収益管理を継続的に行っていかなければならないと考えております。

令和7年度につきましては、今後のるべしべやよい苑のるべしべ地区への移転について、グループホーム化及び施設等どのような形がよいのか、検討を重ねて参ります。

また、るべしべ希楽苑につきましても、将来的に新築、大規模修繕等、高齢者人口の推移を見極め、検討し、法人全体の事業をるべしべ光星苑に隣接した場所に障がい部門を集約する目的は変更せず、検討していきます。